

仕事への心構え学ぶ

釧路公立大生 同友会会員と懇談会

釧路公立大学（白川欽哉学長）の学生と道中小企業家同友会くしろ支部（曾我部元親支部長）の会員との懇談会が13日、同大学で開かれた。学生たちは、会員企業の経営者らによる「はたらくこと」をテーマに自らの経験を踏まえた仕事に対する思いや心構えなどの話に耳を傾けて積極的に質問するなど、間近に迫る社会人としての将来像を思い描いた。

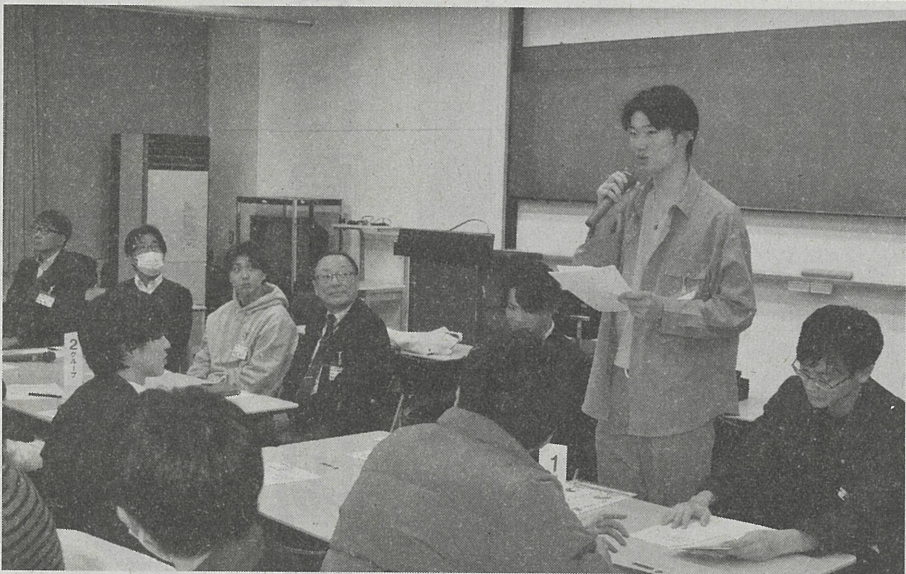
両者の懇談会は今年7月の「根釧で働く意義と魅力を探る」に続いて2回目。この日は学生（1、3、4年生）28人、同友会会員企業11社12人が参加し、事務局も加わり混成で5、6人ずつ7グループを編成、自己紹介を経て懇談会を展開した。最後に各グループを代表する学生が「下積み時

代の仕事も全力を尽くすことや、行動と言葉を一致させることが大事だと言んだ」や「若い時に失敗や苦勞をし、自分の糧

としていくことを教えてもらった」など印象に残ったことを発表した。同大3年の菅原梨花さん（20）は前回に続いて

参加。「若いうちは広い視野を持つためにいろいろな経験をし、さまざまな人の話を聞いてやりたいことを突き詰めていくことが大事という話が聞けた。やりたいことをまず決めるという自分の思っていた就活や働き方のイメージと差があつて印象に残る懇談会になった」と笑顔を見せた。

（嶋守善一）



最後の発表を行う釧路公立大の学生（右から2番目）